

何の専門知識もなかつた自分が、プロバスケットボールチームの責任者に。おもしろさは格別です。——京都ハンナリーズGM

後藤 純也さん

京都府出身。中学、高校とラグビーに打ち込み、大阪工業大学高校(現・常翔学園高校)3年の時、全国高校大会で3位に。高校卒業前には大学から誘いもあったが、ラグビーを高校までやめることを決意し、一般入試で京都産業大学経済学部へ。同学部を1996年に卒業後、京都市の医療機器製造販売会社に就職。昨年、同社がbjリーグ参入をめざすチームの支援会社となつたことがきっかけとなり、11月にGMに就任を果たす。

京都府を本拠地とする「プロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」。2009年から日本プロバスケットボールリーグ(bjリーグ)に加盟し、いよいよこの秋から最初のシーズンがスタートする。昨年、チームの初代ゼネラルマネージャー(GM)に就任した後藤さん。「0から1をつくるのは難しい。だけど、そのおもしろさ、やりがいは計り知れません」というチームづくりのあり方や魅力について聞いてみた。

可能性を試してみたいと、GMの公募にエントリー。

医療機器製造販売会社に就職し、3年前から所長として岡山で勤務していた後藤さんに転機が訪れたのは昨年7月のこと。同社がプロバスケットボールチーム立ち上げの支援会社となり、運営会社・スポーツコミュニケーションズ(KYOTO)(株)をつくったのを機に、その責任者を社内外で公募。「その情報報を社内の電子メールで知り、すぐに応募しました」。現状の仕事には満足していたが、自分の可能性を試せるような何か新しいことをしてみたいと思っていた後藤さんに迷いはなかった。

昨年のbjリーグの試合観戦は 全日程制覇?!

チームづくりの基礎となるヘッドコーチの選定から、スポンサー探し、会場の調整や広報など、GM就任後は毎日を過ごす。また、それらの作業と並行し、昨年のbjリーグのシーズン中は毎週公式戦の観戦に行き、北は仙台から南は沖縄まで日本各地に足を運んだ。「選手を見るのはもちろん、会場の雰囲気や運営など、実際に自分の目



京都市体育館がホームグラウンド。「ぜひ一度ナマで試合を見て、その迫力やおもしろさを体感してください」。

バスケットボールを通じて、地域の活性化に貢献する。

スポーツ「ユニケーション/KYOTO(株)」では、ハンナリーズの運営・活動を核としながら、京都の産・官・民・学をつなぎ、地域の活性化に貢献できるような存在をめざしている。「強いチカラづくりをするのはもちろんですが、例えばバスケットのスクールを開校したり、将来的にはさまざまなカタチで地域とのかかわりを深めていかなければと思っています」。また、引退した選手の第二の人生までフォローできる環境づくりも考え、「選手を物心両面から支え、他のチームの選手からハンナリーズに行きたいと思われるようなチームにしたいです」

ね」と後藤さん。「GM就任後はほとんど休みがありませんが、やりがいは大きく、今は毎日が充実しています」と笑顔を見せてくれた。

Profile

大阪府出身。中学、高校とラグビーに打ち込み、大阪工業大学高校(現・常翔学園高校)3年の時、全国高校大会で3位に。高校卒業前には大学から誘いもあったが、ラグビーを高校までやめることを決意し、一般入試で京都産業大学経済学部へ。同学部を1996年に卒業後、京都市の医療機器製造販売会社に就職。昨年、同社がbjリーグ参入をめざすチームの支援会社となつたことがきっかけとなり、11月にGMに就任を果たす。



リーグ開幕戦情報

VS 滋賀レイクスターズ 戦
2009年10月3日(土)
2009年10月4日(日)

会場：京都市体育館
いずれの試合も14:00より



京産大、チメッセージ

私は絶対ディズニーキャラクターの「ジーニー」。いっぱい願い事をかなえてもらいたいので！ステキでしょう。（外国語学部3年次生 杉本 真理絵さん：左）「キリン」です。2階の窓からエサをあげたり間近で顔を見たりしてみたいので。ヘンですか？絶対カワイイですよ！（外国語学部3年次生 複原 由衣さん：中央）なんといつても「スヌーピー」！もうメチャメチャ大好きなので、本当に飼えたらとても幸せです！（外国語学部3年次生 松山 依子さん：右）

